

競技注意事項及び大会規定

- 1 本大会は2019年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則と本大会規定により実施する。
- 2 招集について
 - (1) 招集は全て招集所(100mスタート側)で行う。
 - (2) 招集開始及び完了時刻は、別記競技日程を参照のこと。
 - (3) 招集の手順
 - ① 競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカード、スパイク、衣類及び競技場内に持ち込む物品等の確認を受ける。点呼後、組ごとにトラック競技はスタート地点へ、フィールド競技は競技場所へ移動し、最終点呼を受ける。
 - ② ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。招集所や競技場所でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり、競技終了後返却する。(競技規則144条3(B)(C))
 - ③ 代理による招集の確認は原則認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者は、1種目目の招集開始時刻までに、本人もしくは代理人が、あらかじめその旨をホームページからダウンロードした「二種目同時出場届用紙」(招集所にも用意する)に記入し、招集所(競技者係)に提出し、指示に従う。
 - ④ 招集時刻に遅れた競技者は、当該種目を欠場したものとみなし処理する。
 - ⑤ 出場種目を欠場する場合には、招集開始までに欠場届を提出する。用紙はホームページからダウンロードして使用すること。(招集所にも用意する)
- 3 競技場への入退場について
 - (1) 競技場の入退場は係員の指示に従って整然と行う。本部前の通行は禁止する。
 - (2) 競技者以外は競技場内に立ち入らないこと。
 - (3) 競技終了後は競技場外へ素早く移動すること。
- 4 競技について
 - (1) 走路順、試技順はプログラム記載順とする。
 - (2) トラック競技はすべてタイムにより順位を決定する。
 - (3) 短距離走では安全のために、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
 - (4) フィールド競技は3回の試技の後、記録の上位8名がさらに3回の試技を行い順位を決定する。計測ラインを次のように設定する。ただし、跳躍審判長・投てき審判長の判断で変更することもある。

	B 走幅跳	C 走幅跳	A 砲丸投	B 砲丸投	円盤投	ジャベリックスロー
(男子)	4m80	4m30	8m00	8m00	20m	30m
(女子)	3m80	3m50	7m00	8m00	10m	20m
 - (5) 走幅跳はスタンド側をAピット、トラック側をBピットとする。男子をAピット、女子をBピットで競技する。
 - (6) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行う。
 - (7) 走高跳のバーの上げ方は、下記によるものとする。

(天候など特別な状況が生じた場合、フィールド審判長の判断で変更することもある。)

優勝決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

(男子A) 1m50 - 1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m70 - 1m73 - 1m76 以後3cm

(女子A) 1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m45 - 1m48 - 1m51 - 1m54 以後3cm

- (8) ナンバーカードは、胸、背部につけること。ただし、跳躍種目に出場する者は片面だけでもよい。

腰ナンバーカードは、競技終了後フィニッシュ地点で回収する。

- (9) 競技者は、審判員の許可を得て、競技の進行中に競技場所を離れることができる。
- (10) スパイクピンは全天候用で、長さは7mm以内(走高跳9mm以内)とし、スパイクは先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。(競技規則143条)
- (11) 1回目から不正スタートした競技者は失格となる。なお、競技規則第162条5(c)「スタートにおける警告」に関する2018年度改正ルールは適用せず注意にとどめる。

5 用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。
- (2) 練習用としても、個人の用器具を競技場内へ持ち込んではならない。

6 表彰について

- (1) 上位3位までの競技者には賞状を授与する。
- (2) 上位3位までに入賞した競技者は、各自でエントランスホールで賞状を受け取ること。

7 その他

- (1) 競技場を汚さないようにすること。特に空き缶類、弁当がらの片づけは各校で責任を持って行うこと。
- (2) 各自の持ち物の管理には万全を期すこと。
- (3) 選手・競技者は、生徒役員など許可された者を除き、正面玄関、各部屋へ立ち入ることはできない。
- (4) 応援はスタンドで行い、競技場へは入らないこと。メインスタンドでの声をそろえての一斉応援は行わないこと。
- (5) 掲揚塔にかからないように応援横断幕を張ること。
- (6) 競技者の事故等に対しては、応急処置以外の一切の責任は負いません。